

栄養健康研究会

【日本の食生活と肥満研究部会】

1, 2 月	第 5 回研究部会開催 (1/11)。和洋女子大・坂本先生を訪問し情報収集 (2/8)。ILSI ライフサイエンス・シンポジウムに参加し肥満 TF 活動共有化 (2/14)。INTERMAP データ活用に関し国立循環器病センター岡山先生へコンタクト継続中。
3, 4 月	3 月 20 日に第 6 回目の部会を開催。3 種類の分科会「発酵製品の多様性」、「脂質の種類」、「食事の量」から中間報告の形で現状調査報告がなされた。次回 (第 7 回目)、7 月 5 日における中間報告会に向けて各分科会で検討する。
5, 6 月	5~6 月は全員参加の部会は開催せず、分科会として活動した。
7, 8 月	7 月 5 日 (木) に第 6 回全体会を開催し、各分科会の進捗情報を共有化した。2008 年度のシンポジウム開催を目指し、次回の全体会 (10 月 11 日) までにロードマップを作成し、検討していくこととした。
9, 10 月	10 月 12 日に研究部会を開催して、分科会長相互間で会合内容を共有化した。各分科会の進捗状況の確認と今後の活動目標を確認した。
11, 12 月	10 月 30 日に ILSI 本部 John Ruff 会長に本研究部会の活動概況を説明。11, 12 月は研究部会の全体会は開催しなかった。1 月 17 日の次回全体会に向けて分科会活動をおこなった。

*** 発酵製品の多様性分科会**

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	「食の満足感」に着目し、食事の量と肥満との関連について調査中。
7, 8 月	7 月 26 日に分科会を開催。これまで発酵食品の摂取量や品目数と肥満との関係を数値データとして表現する方法を模索してきたが、この作業が非常に困難であるとの結論に達した。そこで、発酵食品が食事量や質に与える影響に焦点をあて情報収集を継続することとした。
9, 10 月	日本語を含めてオンラインにて関連する報告書の検索を検討する予定。
11, 12 月	

*** 脂質の種類分科会**

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	「脂質悪者説」の歴史的な調査、並びに脂質摂取量と運動量との関連について調査中。
7, 8 月	大きな進捗無し。現在までの入手データを解析すると「肥満と脂質を直接関連付けるデータが存在しない。」と考えられる。
9, 10 月	関連する報告書などをさらに探索し、脂質と肥満との関連を独自に検討する予定。
11, 12 月	

* 食事の量分科会

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	食事摂取量調査(インターマップ・スタディー)情報の活用に向け、研究者派遣の具現化進行中。
7, 8 月	インターマップスタディーのデータの具体的な使用について、岡山先生(結核予防会)と面談し、9 月から国立健康栄養研に協力研究員を派遣することで合意。具体的な手続きを開始した。
9, 10 月	FAO の食糧供給調査と WHO の健康調査に関する資料を検討。また、インターマップ・スタディーのデータにつき、確認する予定。
11, 12 月	